

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン
連携事業進捗状況
(令和5年度期末報告)

令和6年3月

燕市・弥彦村

目 次

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組	3
2 具体的取組の全体像	4

II 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況

1 進捗状況一覧	5
2 具体的な取り組み	
・ 病児・病後児保育事業	6
・ 新潟大学寄附講座事業	7
・ 看護職員修学資金貸付事業	8
・ 介護人材定着促進事業	9
・ 観光エリア魅力アップ促進事業	
【首都圏等観光PR事業】	10
【産業観光ナビゲート事業】	11
【観光協会運営支援事業】	12
【2次交通整備事業】	13
【観光複合施設運営管理事業】	14
【情報発信ツール活用事業】	15
・ コミュニティバス運行事業	17
・ 予約制乗合ワゴン車運行事業	18
・ 職員合同研修事業	19
・ 外部人材活用事業	20

III 共生ビジョン取組事務事業一覧表	21
---------------------	----

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組

○生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療・福祉

① 地域医療・福祉の環境整備（４事業）

- 病児・病後児保育事業
- 新潟大学寄附講座事業
- 看護職員修学資金貸付事業
- 介護人材定着促進事業

(2) 産業振興

① 広域観光の促進（１事業）

● 観光エリア魅力アップ促進事業（細事業６事業）

- ・ 首都圏等観光PR事業
- ・ 産業観光ナビゲート事業
- ・ 観光協会運営支援事業
- ・ ２次交通整備事業
- ・ 観光複合施設運営管理事業
- ・ 情報発信ツール活用事業

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの構築（２事業）

- コミュニティバス運行事業
- 予約制乗合ワゴン車運行事業

○圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

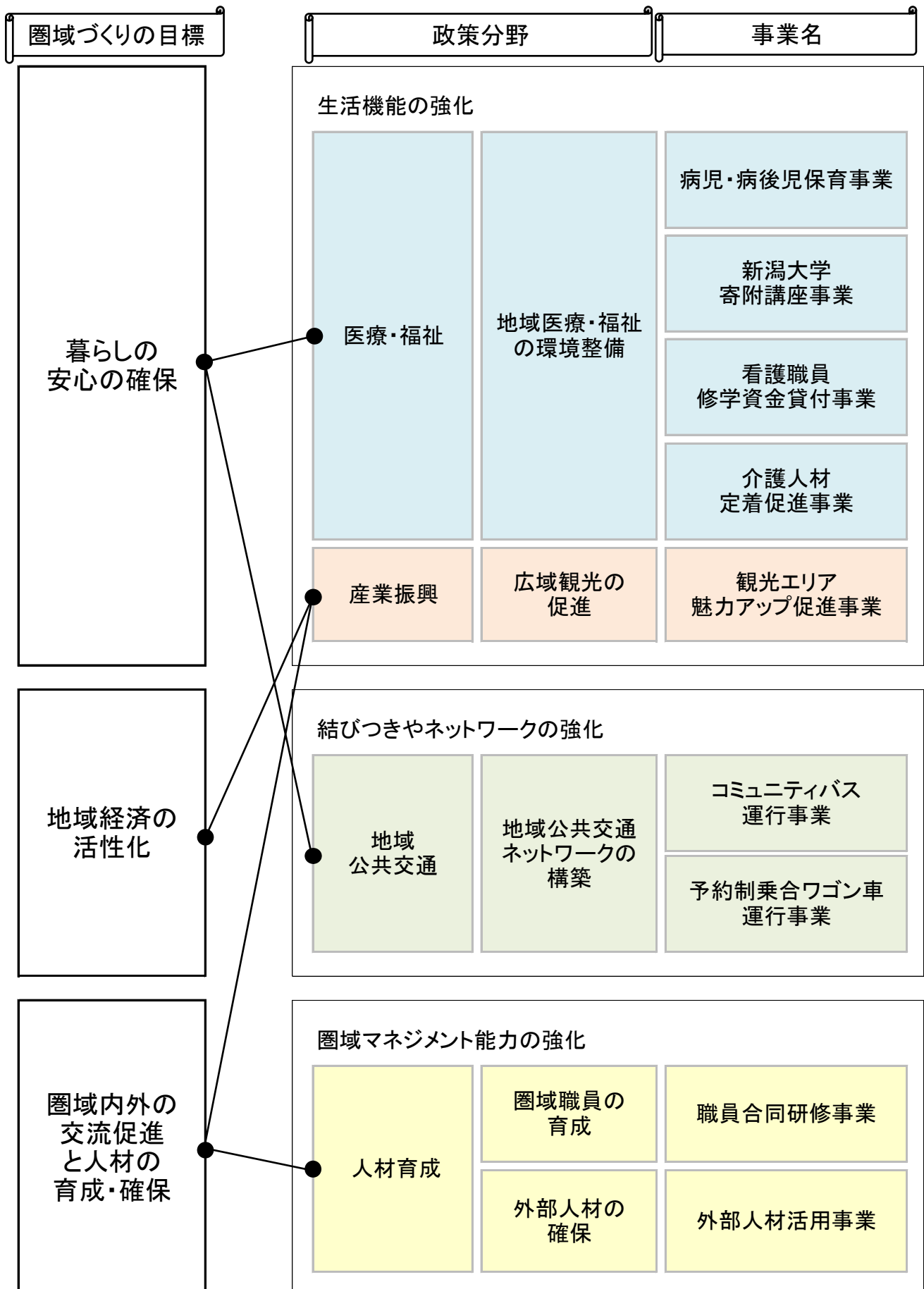
① 圏域職員の育成（１事業）

- 職員合同研修事業

② 外部人材の確保（１事業）

- 外部人材活用事業

2 具体的取組の全体像



Ⅱ 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況

1 進捗状況一覧（全 14 事業）

各事業について、圏域の実情を踏まえながら実施した年度内の取り組みの進捗状況を4段階で評価しています。（4段階評価：順調、概ね順調、やや遅れている、遅れている）

■順調（5）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	病児・病後児保育事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	新潟大学寄附講座事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	看護職員修学資金貸付事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	介護人材定着促進事業
人材育成	外部人材の確保	外部人材活用事業

■概ね順調（9）

政策分野		事業名
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【首都圏等観光PR事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【産業観光ナビゲート事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光協会運営支援事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【2次交通整備事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光複合施設運営管理事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【情報発信ツール活用事業】
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	コミュニティバス運行事業
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	予約制乗合ワゴン車運行事業
人材育成	圏域職員の育成	職員合同研修事業

■やや遅れている 遅れている（なし）

2 具体的な取り組み

- 生活機能の強化に係る政策分野
 - 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	病児・病後児保育事業						
事業内容	児童が病気の治療中又は回復期にあり、保育園等での集団保育が困難で、かつ、保護者のやむを得ない事情により家庭で保育が困難な場合に、その児童を専用施設（病児保育室「あおぞら」）で一時的に預かり、保育および看護ケアを行うことで、保護者の子育てと就労の両立を支援する。					関係市村	
						燕 市 弥彦村	
期待される効果	圏域の保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が図られる。						
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	＜事業概要＞						
	対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども					
	利用定員	8人					
	開設日	月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）					
	開設時間	8時から18時まで （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）					
	職員配置	保育士5人					
	利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除					
	＜登録者数及び利用者数＞（単位：人）						
	登録者数	燕市	1,587	1,768	1,991	2,188	2,414
		弥彦村	216	219	227	228	235
計		1,803	1,987	2,218	2,416	2,649	
利用者数	燕市	591	148	375	311	541	
	弥彦村	66	9	19	18	26	
	計	657	157	394	329	567	
※令和5年度は1月末時点							
進捗状況 (反省点・改善点)	☑順調 ☐概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている						
	登録者数は、チラシや登録票を入園式などで配布し、周知を行っているため継続的に増加しています。また、利用者数も、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、コロナ禍前の状態に回復しています。引き続き本事業の安定と継続的な運営が図れるよう支援していきます。						
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		
						➡	
事業費見込 (単位：千円)	20,028	22,000	22,000	27,440	25,891		
	特定財源等	10,184	8,792	8,792	8,702	8,702	
	一般財源	9,844	13,208	13,208	18,738	17,189	
特定財源等の名称	子ども・子育て支援交付金						
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。						

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具 体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
病児・病後児保育事業の登録者数	1,585人	2,188人	2,668人	○	2,700人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
医療・福祉
－ 地域医療・福祉の環境整備

事業名	新潟大学寄附講座事業				
事業内容	新潟大学に設置した寄附講座により、消化器疾患対策の研究を新潟大学及び吉田病院を拠点として実施し、吉田病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指す。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	次世代検診モデルの構築による消化器疾患の早期発見、早期治療対策の研究による地域の検診体制の強化が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	新潟大学が県立吉田病院の消化器内視鏡センターに医師を派遣し、診療及び以下のことを実施した。 1. 慢性疾患の早期発見、早期治療対策 燕市の集団による特定健診等受診者のうち、同意が取れた人の血液検査データに、現状では健診項目ではない肝線維化の程度を確認するFIB-4インデックスも加え、受診勧奨レベルの研究を継続実施した。 2. 大腸がん検診の精密検査に関する情報提供 燕市、弥彦村ともに大腸がんの精密検査受診率が他のがん検診と比較し低いことから、大腸がんと生活習慣病の関係や精密検査の必要性を普及啓発する動画を県立吉田病院の医師と協働で作成した。大腸がん検診の結果通知に動画視聴できる二次元コードを同封した他、医療機関等にポスター掲示や市ホームページにて周知を行った。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	今年度は大腸がん検診の精密検査に関する動画を作成し受診率向上等、市民の健康づくりに寄与している。来年度も市民の健康意識を高める事業の実施と寄付講座における研究への協力により、消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指し実施していく。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480
	特定財源等	－	－	－	－
	一般財源	7,480	7,480	7,480	7,480
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
県立吉田病院 消化器内科医師数	4人	4	4	◎	4人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

○生活機能の強化に係る政策分野
医療・福祉
- 地域医療・福祉の環境整備

事業名		看護職員修学資金貸付事業				
事業内容	看護師等を養成する学校又は養成所に在籍し、将来県央医療圏において看護職員として業務に従事しようとする者に対し、市村が指定する医療施設に継続勤務した場合に返還が免除となる修学資金の貸与を行い、県央圏域の看護師不足の解消と人材の地元定着を図る。	関係市村				
		燕 市 弥彦村				
期待される効果	圏域を含む県央医療圏における看護職員の確保及び人材の地元定着が図られ、圏域の医療体制の維持・充実につながる。					
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	【制度の概要】 ◆対象者：本人または保護者が燕市・弥彦村在住で、看護師等を養成する学校または養成所に在学する人 ◆貸与月額：5万円、4万円、3万円から選択 ◆貸与期間：在学する学校・養成所の正規の修業期間（最長5年間） ◆返還免除：以下の要件すべてに当てはまる場合は、返還を免除する （1）学校や養成所を卒業後、看護職の免許を取得すること （2）資格取得後、直ちに指定する医療機関において、当該免許を活かした業務に5年間継続して従事すること ◆その他：新潟県が実施している「看護職員臨時修学資金制度」との併用が可能 【実施状況】 燕市 ・新規申請者…11名 ・貸与決定…11名 ・継続貸与者…16名 ※月50,000円(26名)、月40,000円(1名)を4月(新規は7月)と10月に振込み ※次年度の申請を令和6年2月から受付開始 弥彦村 ・新規申請者…0名 ・貸与決定…0名 ・継続貸与者…2名 ※月50,000円(1名)、月30,000円(1名)を9月と3月に振込み					
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている					
	新潟県の修学資金貸与制度との併用者は、燕市14名・弥彦村0名であった。今後も県と協力し、互いに周知しあうことで、事業の利用者増加に努める。					
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
						
事業費見込 (単位：千円)		7,500	12,963	17,041	20,648	
特定財源等		-	-	-	-	
一般財源		7,500	12,963	17,041	20,648	
特定財源等の 名称						
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれが費用を負担する。					

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R2)	去年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
看護職員修学資金貸付事業（延べ人数累	—	23人	34人	◎	32人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

○生活機能の強化に係る政策分野
医療・福祉
－ 地域医療・福祉の環境整備

事業名	介護人材定着促進事業				
事業内容	介護資格の取得経費や研修受講費の一部を助成することで介護人材の確保に努めるとともに、介護業務に精励する職員の表彰を通して、介護職のやりがいと魅力を広く住民に発信し、職員が自信と意欲を持って働き続けられるよう介護人材の定着を図る。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	介護職員が資格を取得することや表彰を受けることで、自信とやりがいを持てる職場環境が形成され、職員の離職予防や定着促進につながり、圏域における高齢者が介護サービスを安定的に利用できる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	【介護職員研修費助成事業助成金】 ①介護職員初任者研修（ヘルパー２級） 研修費用の１／２補助、上限７万円 申請者数：３名 ②介護職員実務者研修（ヘルパー１級） 研修費用の１／２補助、上限８万円 申請者数：６名 ③介護職員喀痰吸引等研修 研修費用の１／２、上限４万円 申請者数：９名 ④介護福祉士資格取得 登録費用の10／10、上限１万円 申請者数：11名 ※いずれも１月末時点の申請者数 周知としては事業所宛に制度周知のメールを一斉送信し、申請を勧奨した。 【燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰】 燕市において今年で６回目となる燕市・弥彦村圏域の介護施設に10年以上勤務している介護職員等に、日ごろの感謝を込め表彰する「燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰式」を11月に実施し、57名に表彰を行った。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている 目標値は達成しているが、事業開始当初に比べると申請者数が減少傾向となっているため、引き続き事業所への制度周知を図っていきたい。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					
事業費見込 (単位：千円)	764	615	644	573	4,091
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	764	615	644	573	4,091
特定財源等の 名称					
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
介護人材育成事業補助金 助成者数(延べ人数累計)	147人	298	327	◎	290人

※達成状況は３段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（首都圏等観光PR事業）				
事業内容	首都圏を中心にイベント出展、メディアのパブリシティ活動や交通媒体等に対する観光PR活動の強化を図る。また、マスコミや旅行会社、一般消費者によるモニターツアーを実施して圏域への誘客の増加を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	マスコミや旅行関係者に圏域の観光資源を直接提供することで、新たな旅行商品が造成され、首都圏からの誘客増加や新たな客層の発掘が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	首都圏等観光PR事業 ①産業観光ツアー造成支援事業 産業観光施設並びに燕市及び弥彦村の立ち寄り施設を各1個所以上取り入れた募集型企画旅行を催行する旅行事業者に対し補助。 ※ 申請件数13件（国内11件 訪日2件） ②インバウンドプロモーション事業 インバウンド需要が活発化していることから、台湾からの誘客促進を図ることを目的に春夏、秋冬のツアー造成のタイミングで2回実施 R5.8.29～9.1 14社（台北）2名 R6.2.19～2.23 17社（台北、台中）3名 ③観光イベントへの出展 商談会 8回 （名古屋、埼玉、浅草、大宮、大阪、関西、中国向け、クルーズ船向け） 観光イベント 3回（大宮駅、東京駅、上野駅） ④観光パンフレット等の設置 パンフレット設置場所：東京シティアイKITTE、TIC東京、 高速道路SA（上里、赤城高原） 新橋駅（JR東日本新潟支社主催イベント） 広告ステッカー掲出：都営地下鉄大江戸線 ⑤雑誌やメディアを使った観光プロモーションの実施 北信越福島5局制作番組「北信越福島行楽マップ2023」として、NST及び北信越福島の5局での行楽スポットを紹介しました。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐順調 ☒概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている ①産業観光ツアー造成支援 R6年度は、参加人数に対する補助内容に変更することで、さらなる観光入込客数の増加を目指します。 ③観光イベントへの出展 燕・弥彦地域の観光PRイベントをR6.5末に銀座に新たにオープンする新潟のアンテナショップ等を候補に実施を検討していきます。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					
事業費見込 (単位：千円)	10,750	10,000	10,000	10,000	6,500
特定財源等	－	3,750	7,000	6,500	4,500
一般財源	10,750	6,250	3,000	3,500	2,000
特定財源等の 名称	地方創生推進交付金				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（産業観光ナビゲート事業）				
事業内容	各種観光イベントの企画運営の強化拡充と観光客や団体視察などの受入体制を充実させるため、観光ナビゲーターの確保育成を図る。				関係市村
					燕 市
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	①観光ナビゲーターの活用 【実施状況】 ・燕市観光協会で観光ナビゲーター3名を採用 ・観光案内業務 ・修学旅行や企業視察のコース提案及びオペレーションを実施 * 産業観光視察受入実施状況 R6.01.31現在 6,844人 (R04年度実績 10,402人)				
	②産業史料館運営業務 【実施状況】 ・産業史料館における受付・入館対応業務、案内、説明。 ・体験工房館での体験受付、指導。				
進捗状況 (反省点・改善点)	③新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 【実施状況】 ・体験型観光の企画開発 ・自然・産業観光が連携した新たな観光資源の発掘				
	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	9,601	9,601	9,914	36,227	41,643
特定財源等	4,800	4,800	4,957	10,557	10,000
一般財源	4,801	4,801	4,957	25,670	31,643
特定財源等の 名称	地方創生推進交付金				
役割分担の 考え方	燕市が事業を実施し、費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光協会運営支援事業）				
事業内容	燕市と弥彦村の観光に係るイベント開催、観光情報の発信を担う観光協会の運営事業を支援することにより、圏域の観光客誘致を効果的に実施する。			関係市村	
				燕 市 弥彦村	
期待される効果	圏域の観光の魅力を安定的に情報発信させることで、観光客が圏域を訪れる契機となったり、リピーター率の増加が図れるなど、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	●（一社）燕市観光協会 【1. 観光イベント開催事業】 ・つばめ桜まつり 4月3日(月)～16日(日)を桜まつり期間として、桜のライトアップやイベントを市内各所で開催。 「第78回 分水おいらん道中」：4月16日(日) 感染症を考慮し、約30名に規模縮小して実施。当日は天候不良のため分水総合体育館での屋内開催とし、午前と午後に分けて実施しました。 (観覧客：午前483名・午後619名) ・第18回越後くがみ山酒吞童子行列 9月の1カ月間を「鬼月間」として各所でPRとイベントを開催したほか、9月25日(日)に道の駅SORAIRO国上周辺で「酒吞童子行列」を実施しました。感染症対策のため、一般参加者の募集は控え、鬼役、鬼軍団で行列としました。 (延べ来場者数：約4,400名) 【2. 観光プロモーション事業】 燕市の魅力を発信していくため、ツール媒体、既存媒体等への広告掲載など、PR活動により、燕市の知名度向上、誘客促進を図る。 ●（一社）弥彦観光協会 コロナウィルス感染症からの客足回復を図るべく、感染症拡大のために中止または規模縮小していたイベントに関して、極力従来どおり開催したほか、弥彦村地域振興事業補助金を活用した「やひこ浴衣でまちあるき」、「山の日フェスタ」などの屋外周遊を促す事業を実施。「山の日フェスタ」ではインフルエンサーを起用したSNSプロモーションを実施した結果、弥彦山ロープウェイの関連施設の利用者数が前年比147%と好評だった。また、国補助事業を活用し閑散期（10月・12月）の誘客イベント「GFGS CARLIFE」イベントをヤホールで実施。バイクカー愛好者を中心に多くの観覧客（2回開催で延べ1300人）が来場した。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐順調 ☒概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている アフターコロナによりイベントが本格的に再開されたが、イベントを継続して行くうえで、地域や関係団体との連携のあり方について検討が必要と考えます。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	47,848	41,230	50,074	49,357	53,440
特定財源等	3,641	3,500	-	3,279	3,245
一般財源	44,207	37,730	50,074	46,078	50,195
特定財源等の名称	地方創生推進交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
－ 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（２次交通整備事業）																									
事業内容	ＪＲ燕三条駅や弥彦温泉から出発する２次交通を整備することにより、観光客の交通手段の利便性の向上を図る。				関係市村																					
					燕市 弥彦村																					
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。																									
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	燕市や弥彦村を中心とした観光地を巡る日帰りタクシープラン 「燕・弥彦を観光タクシーでめぐる旅」の運行 【事業内容】 運行日：R5.4月上旬～R6.2下旬 ※コースによって運行日が異なります。 料 金：5,000円(新潟ワインコースト5,500円) 【実施状況】(R6.1.31現在) 運行本数35本 利用人数91人 東京37人・神奈川17人・千葉2人・栃木2人・静岡2人・新潟8人 ・その他17人・海外(台湾、香港)7人 [各コース内訳] <table><tr><td>・いいところ巡りコース</td><td>運行本数：19本</td><td>利用人数：44人</td></tr><tr><td>・越後平野のルーツに触れるコース</td><td>運行本数：1本</td><td>利用人数：6人</td></tr><tr><td>・燕のものづくり体験コース</td><td>運行本数：2本</td><td>利用人数：12人</td></tr><tr><td>・良寛巡りコース</td><td>運行本数：8本</td><td>利用人数：19人</td></tr><tr><td>・弥彦満喫コース</td><td>運行本数：1本</td><td>利用人数：2人</td></tr><tr><td>・新潟ワインコーストコース</td><td>運行本数：4本</td><td>利用人数：8人</td></tr><tr><td></td><td>計 35本</td><td>91人</td></tr></table>					・いいところ巡りコース	運行本数：19本	利用人数：44人	・越後平野のルーツに触れるコース	運行本数：1本	利用人数：6人	・燕のものづくり体験コース	運行本数：2本	利用人数：12人	・良寛巡りコース	運行本数：8本	利用人数：19人	・弥彦満喫コース	運行本数：1本	利用人数：2人	・新潟ワインコーストコース	運行本数：4本	利用人数：8人		計 35本	91人
・いいところ巡りコース	運行本数：19本	利用人数：44人																								
・越後平野のルーツに触れるコース	運行本数：1本	利用人数：6人																								
・燕のものづくり体験コース	運行本数：2本	利用人数：12人																								
・良寛巡りコース	運行本数：8本	利用人数：19人																								
・弥彦満喫コース	運行本数：1本	利用人数：2人																								
・新潟ワインコーストコース	運行本数：4本	利用人数：8人																								
	計 35本	91人																								
進捗状況 (反省点・改善点)	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている																									
	・首都圏からの観光人流も戻り始めており、二次交通の利便性向上のため、引き続きPRを推進していきます。 ・一部コースの立ち寄り先等の見直しにより、より魅力的なコースにするとともに英語版・中国語版（繁体字）のパンフレットを作成し、インバウンドでの利用促進を図ります。																									
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6																					
事業費見込 (単位：千円)	4,500	2,000	2,000	2,000	2,000																					
特定財源等	-	750	750	-	-																					
一般財源	4,500	1,250	1,250	2,000	2,000																					
特定財源等の 名称																										
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。																									

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

○生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
－ 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光複合施設運営管理事業）				
事業内容	複合的な誘客施設である「道の駅国上」や「おもてなし広場」等において、圏域を訪れる契機となるよう、地場農産物等のPR拡充と販売促進を積極的かつ効果的に 行う。			関係市村	
				燕 市 弥彦村	
期待される 効果	施設の魅力を向上させることにより、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	●道の駅国上 ・R4年7月のリニューアルオープン以降、来館者数・売り上げともに順調に推移している。「自然と遊ぶ道の駅」をコンセプトにした自然観光の交流拠点として、多くのイベント開催し、施設機能としてもオートキャンプ場やRVパークを整備し、11月にはドッグランがOPEN。 【R5年4月～R6年1月末実績】 入館者数：443,132人 前年度同期253,846人（前年同期比175%） 売上額：289,385,402円 前年同期198,181,399円（前年同期比146%） ●おもてなし広場 ・来場者数については、弥彦燈籠まつりやヤホール、おもてなし広場でのイベント開催により順調に推移しています。 ・一方、売上額については昨年度とほぼ横ばい。ヤホールでの飲食系のイベント開催等の影響とテナント入替（1店舗）による閉店～募集の間に生じた空き店舗の状態の影響を若干受けたものと思われます。 （R5.4月～R5.12月末実績） 来館者数 113,366人 前年度110,024人（前年同期比103%） 売上額 142,188,315円 前年度146,994,874円 （前年同期比96.7%）				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐順調 ☒概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている 道の駅SORAIRO国上については令和4年7月のリニューアル以降、休日やイベント開催時に駐車場が不足していることから、駐車場等の整備を進めます。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	30,509	37,769	35,665	29,858	30,634
特定財源等	－		13,929	12,635	9,127
一般財源	30,509	37,769	21,736	17,223	21,507
特定財源等の 名称	地方創生推進交付金、指定管理者納付金				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
－ 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（情報発信ツール活用事業）				
事業内容	圏域の魅力を効果的に伝えることができる観光PR用ポスター、DVDを作成し、情報発信ツールとして活用を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の魅力を情報発信することで、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	①燕市・弥彦村観光PRマップの活用 燕・弥彦広域観光連携会議でR2年度から作成している「燕と弥彦ぐるぐるマップ」について、R4年度は日本語版を30,000部修正増刷し、日本語版をベースとして、英語、中国語(繁体字)を各5,000部作成しました。また、登録したスポットの紹介文を日本語、英語、中国語(繁体字)で見ることのできるデジタルマップをインバウンドにも対応できるツールとして作成しました。 R5年度においても掲載する情報を一部変更し25,000部増刷しました。 ②インバウンドパンフレット活用 台湾の現地旅行会社へのセールス業務や旅行博ブースでの宣伝に英語版や繁体字版のパンフレット設置。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	首都圏に出向いて観光PRを行う機会も増えてきており、パンフレットの設置と併せてポスターをリニューアルしJR駅構内等に掲出することで、誘客促進のためのPRを行っていきます。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	750	750	3,000	3,000	6,500
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	750	750	3,000	3,000	6,500
特定財源等の 名称					
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標(KPI)】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
燕市及び弥彦村の 観光入込客数（暦年）	3,332,034人	3,159,833人	3,626,511人	○	3,752,000人
2次交通整備事業の 利用人数	305人	110人	100人	△	400人
道の駅国上・おもてな し広場来館者数	367,929人	445,295人	648,341人	◎	404,000人
弥彦温泉宿泊数 (暦年)	88,193泊	60,611泊	61,654泊	△	91,000泊
産業観光視察受入人数 (燕市観光協会経由分)	2,102人	10,402人	7,500人	◎	3,500人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	コミュニティバス運行事業				
事業内容	圏域住民の生活に密接なバス路線の運行を維持拡充するため、圏域の主要駅や病院等を経由するバス路線の整備を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点 の年度末見込)	燕市循環バス「スワロー号」、弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」、燕市コミュニティバス実証運行をそれぞれ運行している。 済生会新潟県中央基幹病院が開院する令和6年3月1日に時刻表などを改正する。 【利用料金】 1回 100円（小学生以下無料） 【利用状況】 ・「スワロー号」乗車人数 25,442人（104.7人/日） （昨年度比 +369人（+1.6人/日）） ・「やひこ号」乗車人数 16,499人（67.9人/日） （昨年度比 +404人（+1.7人/日）） ・燕市コミュニティバス実証運行乗車人数 5,370人（19.6人/日） （昨年度比 +584人（+2.5人/日）） ※詳細については別添資料を参照				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている バス利用者数はコロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年度と比べて微増となった。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	36,645	41,063	42,213	43,305	50,899
特定財源等	33,056	32,605	32,194	37,147	38,669
一般財源	3,589	8,458	10,019	6,158	12,230
特定財源等の 名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
コミュニティバスの年間利用者数	53,404人	45,954人	47,311人	△	59,200人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	予約制乗合ワゴン車運行事業				
事業内容	高齢者をはじめとする圏域住民の通院・通学や買い物などの生活活動を支えるとともに、公共交通空白地域の解消を図る。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点 の年度末見込)	予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」は、燕市・弥彦村全域を運行エリアとし、ドアツードアで運行している。 令和5年11月から従来の電話予約に加えて、WEBから予約ができるよう整備し、令和6年3月1日からは東エリアにおいて、済生会新潟県央基幹病院での乗降を可能とする。 【利用料金（1回）】 大人（中学生以上） 300円、小学生 100円、未就学児 無料 【利用状況】 エリア全体 35,769人（145.8人/日） （昨年度比 +338人（+1.4人/日）） ・東エリア＝燕地区、横田地区※県央基幹病院で乗降可能 ・西エリア＝吉田地区、分水地区、弥彦村（※横田を除く） ※詳細については別添資料を参照 【WEB予約の状況（R6.1月末時点）】 WEB登録者数：104人 WEB予約件数：572件（キャンセル含む）				
進捗状況 (反省点・改善点)	□順調 ☒ 概ね順調 □やや遅れている □大幅に遅れている				
	デマンド交通の利用者数はコロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年度と比べて微増となった。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	44,684	46,595	49,322	56,771	54,795
特定財源等	36,947	33,085	34,912	47,349	38,571
一般財源	7,737	13,510	14,410	9,422	16,224
特定財源等の 名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
予約制乗合ワゴン車の年間利用者数	38,652人	35,431人	35,769人	△	38,800人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 圏域職員の育成

事業名		職員合同研修事業				
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で開催することで、職員の資質向上を図るとともに圏域内職員の交流を促進する。	関係市村				
		燕 市 弥彦村				
期待される効果	職員の資質、能力の向上を図るとともに、職員間のネットワーク構築と連携強化が図られる。					
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	【実施状況】 ①接遇力向上・電話応対研修〔R5.4.18実施〕 ・対象：新採用職員、希望者（29名：燕市28名、弥彦村1名） ・講師：NTTネクシア 田辺紀子 氏 ②行政実務のためのデータ分析研修〔R5.6.23実施〕 ・対象：主事～係長級職員（24名：燕市21名、弥彦村3名） ・講師：データ＆ストーリー合同会社 柏木吉基 氏 ③実務データ分析研修（フォローアップ編） 〔7月～10月 R5.12.20成果発表会〕 ・対象：主事～係長級職員（7名：燕市4名、弥彦村3名） ・講師：データ＆ストーリー合同会社 柏木吉基 氏 ④メンタルヘルス研修〔R5.10.26実施〕 ・対象：新採用職員、希望者（60名：燕市、燕・弥彦総合事務組合） ・講師：石橋クリニック 石橋幸滋 氏 ⑤クレーム応対研修〔R5.11.15実施〕 ・対象：採用3年目職員、希望者（16名：燕市14名、弥彦村2名） ・講師：NTTネクシア 田辺紀子 氏 ⑥公文書作成研修〔R5.11.30実施〕 ・対象：採用2年目職員、希望者（22名：燕市20名、弥彦村2名） ・講師：株式会社ぎょうせい 山上秀利 氏					
進捗状況 (反省点・改善点)	☐順調 ☒概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている 当初の予定どおり各種研修を合同で開催し、職員の資質向上を図っている。					
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
事業費見込 (単位：千円)	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	
特定財源等	－	－	－	－	－	
一般財源	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	
特定財源等の 名称						
役割分担の 考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。					

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
来庁者満足度	83.5%	90.0%	92.2%	◎	85.0%
合同研修メニュー数	4メニュー	6メニュー	6メニュー	◎	6メニュー

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 外部人材の確保

事業名	外部人材活用事業				
事業内容	圏域内における生活機能の強化及び結びつきやネットワークの強化を推進するため、必要に応じ高度で専門的な知識等を有する人材を圏域外から招へいすることで、定住自立圏構想の取組の成果を高める。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	専門的な知識等を有する人材を積極的に活用することにより、地域の活性化が図られる。				
実施状況 (R6.1末時点の 年度末見込)	【燕市】 平成23年度から、専門分野において実践経験を有する外部人材を任期を定めて活用しながら、高度かつ専門化する行政課題に対応している。 今年度は、新たに市内シェアオフィス等への進出企業誘致のために外部人材を活用しているほか、自治体DX推進のための外部人材を増員している。 ※令和5年度の活用分野 危機管理、広報企画、情報発信、情報政策、産業誘致の各分野 【弥彦村】 令和元年度から防災分野、令和3年度からは農業分野、図書館業務において、専門的な経験を有する人材を任期を定めて採用している。長年の知識や経験を活かし、専門的な業務に従事している。 ※令和5年度の活用分野 図書館業務の分野				
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	高度かつ専門化する行政課題に適切に対応するため、今後も引き続き、民間企業や公的機関等から専門的な知識等を有する人材の受入れを継続する。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込※ 1	(40,000)	(48,000)	(52,000)	(64,000)	(60,000)
特定財源等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
一般財源	(40,000)	(48,000)	(52,000)	(64,000)	(60,000)
特定財源等の 名称	※1「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きしています。				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.3末)	最新値 (R6.3末見込)	評価	目標値 (R6)
外部人材職員の招へい数（期間中の累計）	5人	9人	13人	◎	6人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

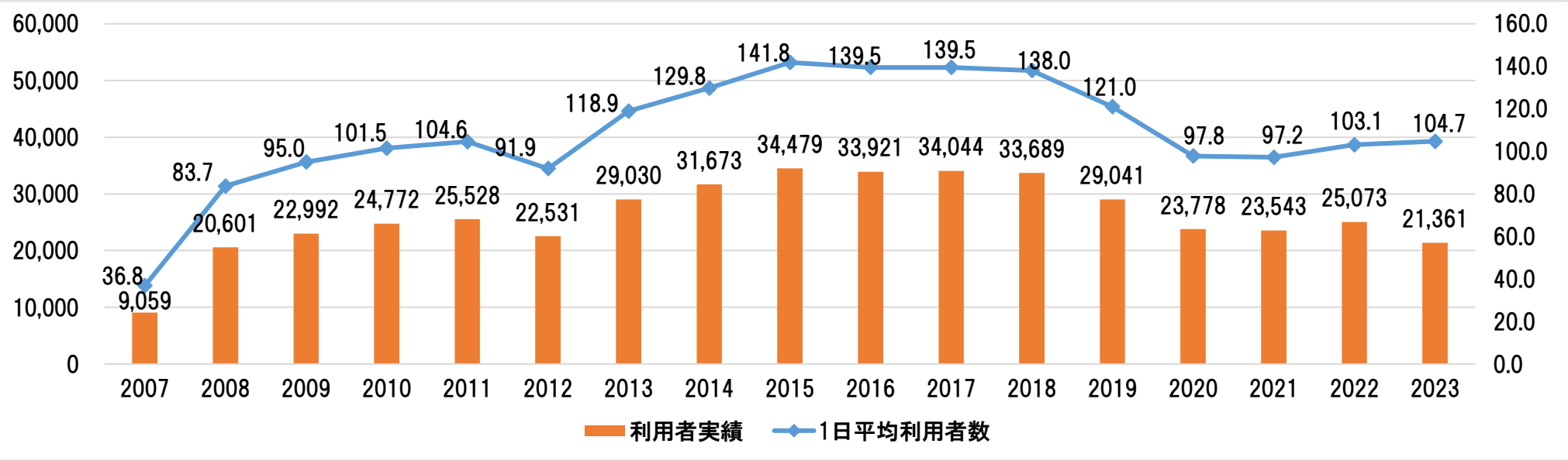
Ⅲ 共生ビジョン取組事務事業一覧表

(※事業費は、現時点での一般財源の合計見込額を記載しています)

項目	事業名	連携市村	事業費（単位：千円）						特定財源等	
			R2	R3	R4	R5	R6	計		
1 生活機能の強化										
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備									
	病児・病後児保育事業	燕 市	8,534	11,498	11,498	18,070	16,521	66,121	子ども・子育て支援交付金	
		弥彦村	1,310	1,710	1,710	668	668	6,066		
		計	9,844	13,208	13,208	18,738	17,189	72,187		
	新潟大学寄附講座事業	燕 市	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	34,000		
		弥彦村	680	680	680	680	680	3,400		
		計	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480	37,400		
	看護職員修学資金貸付事業	燕 市	－	7,200	12,003	16,081	19,088	54,372		
		弥彦村	－	300	960	960	1,560	3,780		
		計	－	7,500	12,963	17,041	20,648	58,152		
	介護人材育成促進事業	燕 市	679	590	619	543	3,611	6,042		
		弥彦村	85	25	25	30	480	645		
計		764	615	644	573	4,091	6,687			
産業振興	広域観光の促進									
	観光エリア魅力アップ促進事業									
	首都圏等観光PR事業	燕 市	8,150	3,750	2,340	2,730	1,560	18,530	地方創生推進交付金	
		弥彦村	2,600	2,500	660	770	440	6,970		
		計	10,750	6,250	3,000	3,500	2,000	25,500		
	産業観光ナビゲート事業	燕 市	9,601	4,801	4,957	25,670	31,643	76,672	地方創生推進交付金	
		弥彦村	0	0	0	0	0	0		
		計	9,601	4,801	4,957	25,670	31,643	76,672		
	観光協会運営支援事業	燕 市	40,907	36,430	50,074	46,078	48,895	222,384	地方創生推進交付金	
		弥彦村	3,300	1,300	0	0	1,300	5,900		
		計	44,207	37,730	50,074	46,078	50,195	228,284		
	2次交通整備事業	燕 市	3,000	3,000	750	1,500	1,500	9,750		
		弥彦村	1,500	1,500	500	500	500	4,500		
		計	4,500	4,500	1,250	2,000	2,000	14,250		
	観光複合施設 管理運営事業	燕 市	26,464	34,395	21,736	17,223	24,020	123,838	地方創生推進交付金	
		弥彦村	4,045	3,374	0	0	3,614	11,033		
		計	30,509	37,769	21,736	17,223	27,634	134,871		
	情報発信ツール活用事業	燕 市	500	500	2,650	2,650	5,075	11,375		
		弥彦村	250	250	350	350	1,425	2,625		
		計	750	750	3,000	3,000	6,500	14,000		
	①小計		燕 市	104,635	108,964	113,427	137,345	158,713	623,084	
			弥彦村	13,770	11,639	4,885	3,958	10,667	44,919	
			計	118,405	120,603	118,312	141,303	169,380	668,003	
2 結びつきやネットワークの強化										
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築									
	コミュニティバス 運行事業	燕 市	2,621	3,544	4,215	4,883	7,262	22,525	地域公共交通確保 維持改善事業、 特別交付税 （地方バス）	
		弥彦村	968	4,914	5,804	1,275	4,968	17,929		
		計	3,589	8,458	10,019	6,158	12,230	40,454		
	予約制乗合ワゴン車 運行事業	燕 市	6,455	6,772	7,230	7,858	8,143	36,458	地域公共交通確保 維持改善事業、 特別交付税 （地方バス）	
		弥彦村	1,282	6,738	7,180	1,563	8,081	24,844		
		計	7,737	13,510	14,410	9,421	16,224	61,302		
	②小計		燕 市	9,076	10,316	11,445	12,741	15,405	58,983	
			弥彦村	2,250	11,652	12,984	2,838	13,049	42,773	
			計	11,326	21,968	24,429	15,579	28,454	101,756	
3 圏域マネジメント能力の強化										
人材育成	圏域職員の育成									
	職員合同研修事業	燕 市	1,080	1,300	1,300	1,300	1,300	6,280		
		弥彦村	120	200	200	200	200	920		
		計	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	7,200		
	外部人材の確保									
	外部人材活用事業 ※1	燕 市	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(56,000)	(56,000)	(208,000)		
		弥彦村	(8,000)	(16,000)	(20,000)	(8,000)	(4,000)	(56,000)		
		計	(40,000)	(48,000)	(52,000)	(64,000)	(60,000)	(264,000)		
	③小計		燕 市	1,080	1,300	1,300	1,300	1,300	6,280	
			弥彦村	120	200	200	200	200	920	
		計	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	7,200		
①＋②＋③ 合計		燕 市	114,791	120,580	126,172	151,386	175,418	688,347		
		弥彦村	16,140	23,491	18,069	6,996	23,916	88,612		
		計	130,931	144,071	144,241	158,382	199,334	776,959		

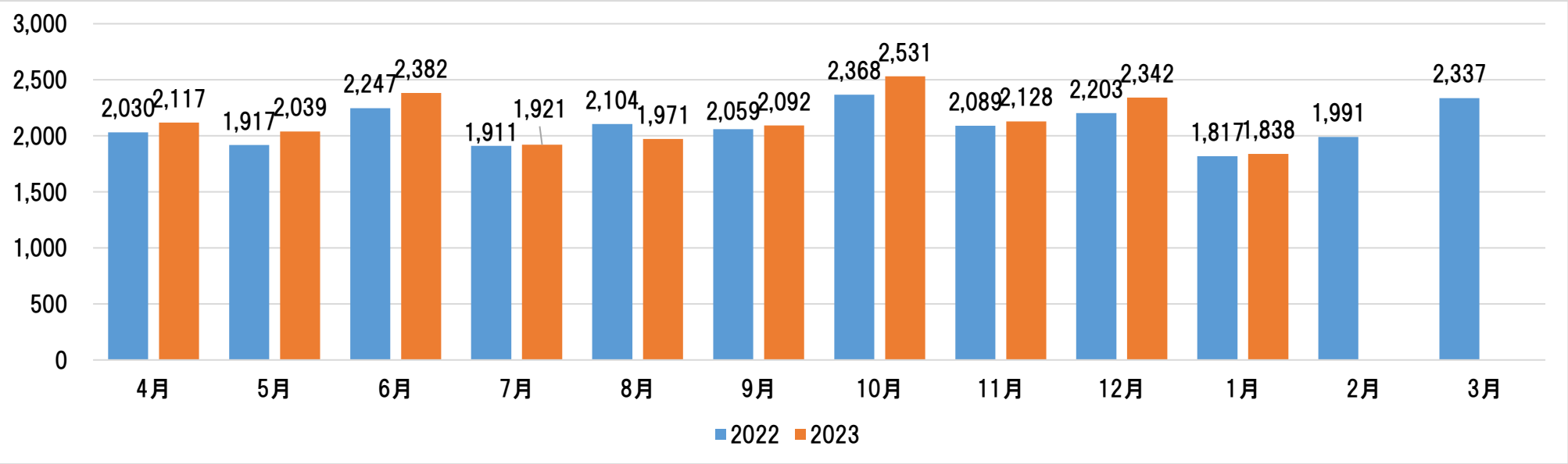
※ 1 「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きし、集計には含めていません。

年度別利用者実実績

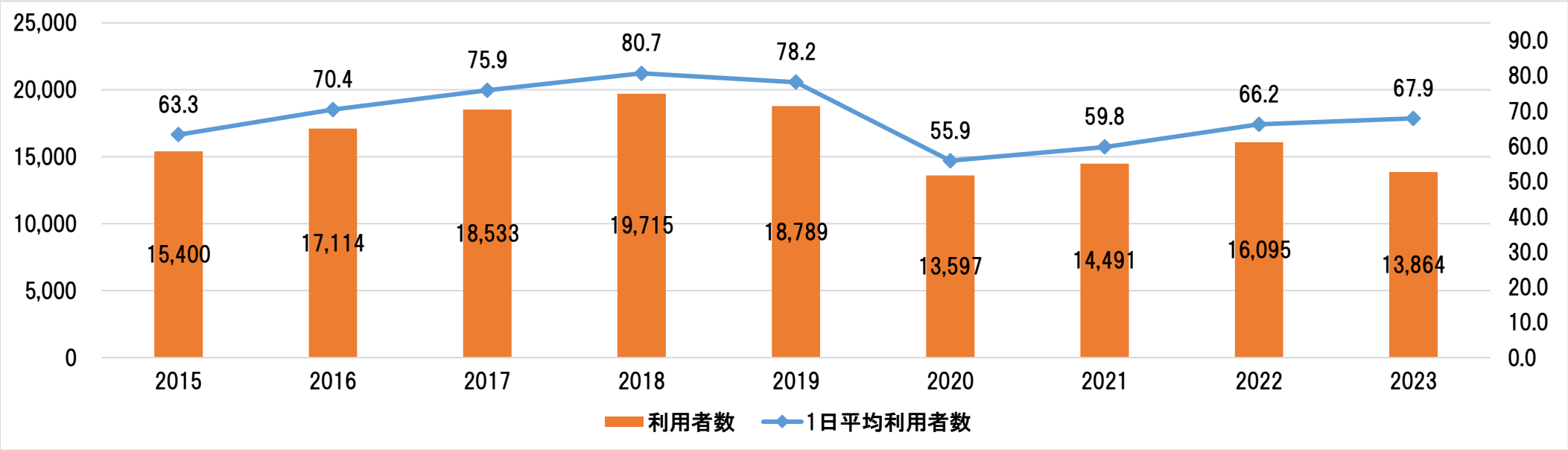


月別前年度比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2022	2,030	1,917	2,247	1,911	2,104	2,059	2,368	2,089	2,203	1,817	1,991	2,337	25,073
2023	2,117	2,039	2,382	1,921	1,971	2,092	2,531	2,128	2,342	1,838			21,361

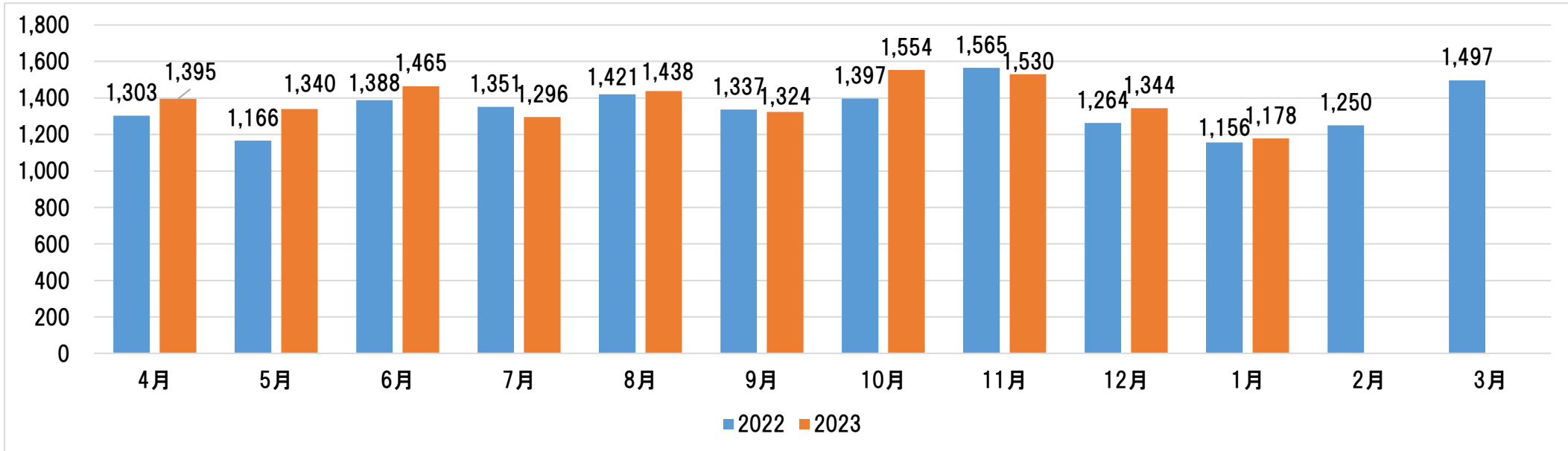


年度別利用者実実績



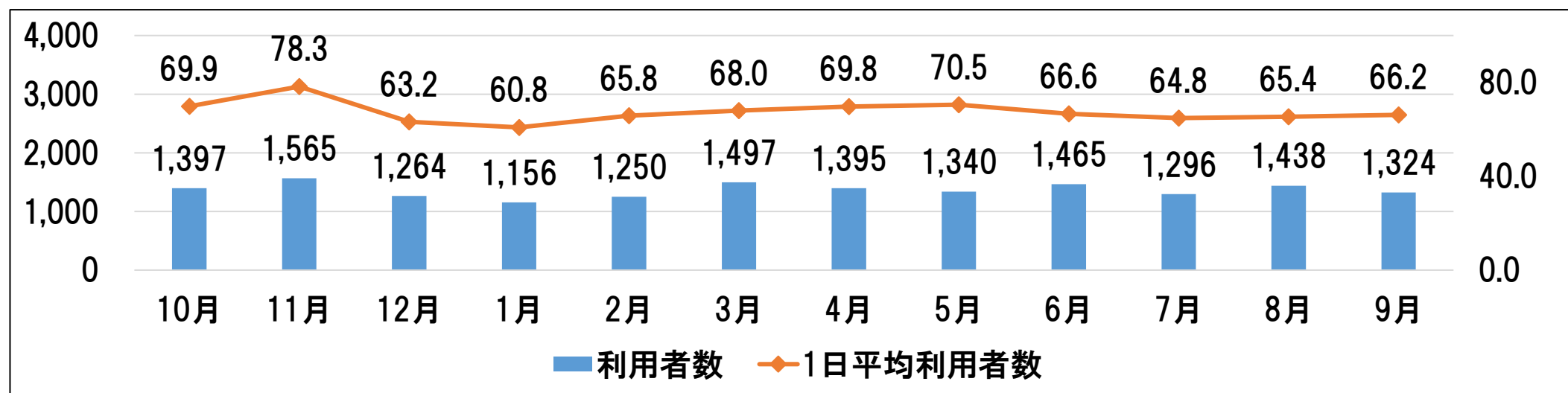
月別前年度比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2022	1,303	1,166	1,388	1,351	1,421	1,337	1,397	1,565	1,264	1,156	1,250	1,497	16,095
2023	1,395	1,340	1,465	1,296	1,438	1,324	1,554	1,530	1,344	1,178			13,864

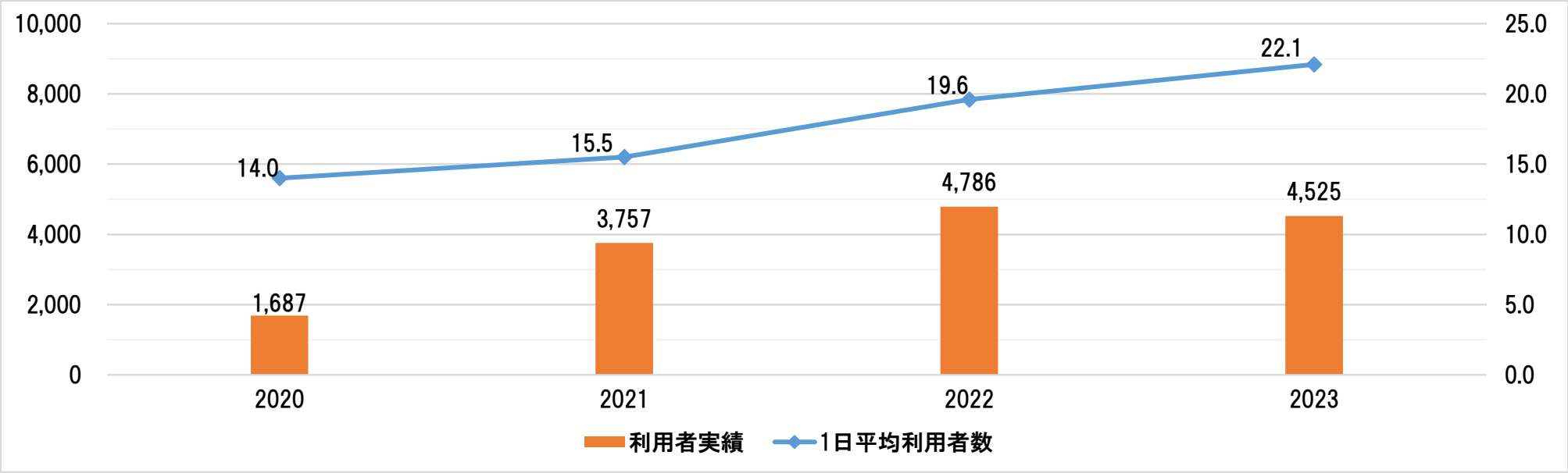


弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」月別乗車実績 ⇒2023

2022	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
利用者数	1,397	1,565	1,264	1,156	1,250	1,497	1,395	1,340	1,465	1,296	1,438	1,324	16,387
1日平均利用者数	69.9	78.3	63.2	60.8	65.8	68.0	69.8	70.5	66.6	64.8	65.4	66.2	67.2

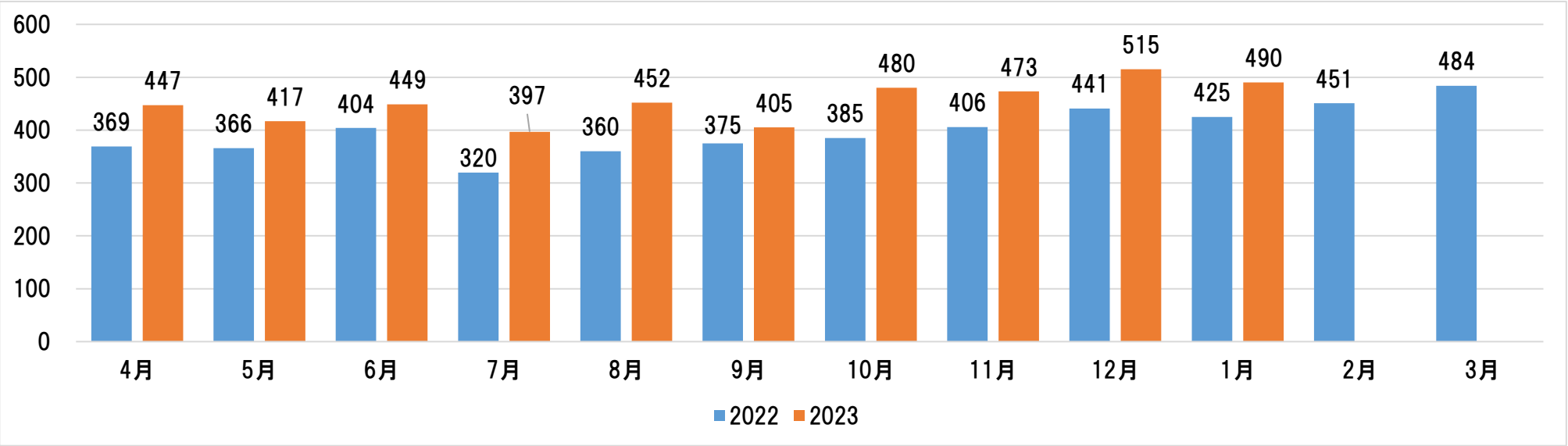


年度別利用者実実績



月別前年度比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2022	369	366	404	320	360	375	385	406	441	425	451	484	4,786
2023	447	417	449	397	452	405	480	473	515	490			4,525



きららん号 利用実績

R05	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19			204
東エリア（燕地区・横田地区）	1,435	1,516	1,607	1,455	1,449	1,537	1,646	1,547	1,472	1,291			14,955
西エリア（吉田・分水地区、弥彦村）	1,431	1,485	1,641	1,495	1,569	1,535	1,540	1,525	1,561	1,300			15,082
西エリアのうち弥彦村民の利用	184	173	203	207	262	181	183	200	230	211			2,034
合計	2,866	3,001	3,248	2,950	3,018	3,072	3,186	3,072	3,033	2,591			30,037
1日平均	143.3	150.0	147.6	147.5	137.1	153.6	151.7	153.6	151.6	136.3			147.2
R04	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243
東エリア（燕地区・横田地区）	1,370	1,369	1,608	1,428	1,415	1,413	1,409	1,440	1,474	1,307	1,331	1,621	17,185
西エリア（吉田・分水地区、弥彦村）	1,571	1,454	1,603	1,527	1,391	1,479	1,507	1,688	1,593	1,371	1,412	1,650	18,246
西エリアのうち弥彦村民の利用	122	147	168	206	160	171	164	171	212	193	183	179	2,076
合計	2,941	2,823	3,211	2,955	2,806	2,892	2,916	3,128	3,067	2,678	2,743	3,271	35,431
1日平均	147.0	148.5	145.9	147.7	127.5	144.6	145.8	156.4	153.3	140.9	144.3	148.6	145.8

